ジョン・ケニーRI 会長から世界中のロータリアンへ
「ロータリーの未来はあなたの手の中に」あります

あなたにできること

ロータリアン行動グループの手引き

2009-10 年度
保健および飢餓救済支援グループ

ロータリーでは、すべてがクラブに始まり、クラブで終わります。クラブは協力しあうことを知っています。所属地区との協力はもちろん、財団からの支援の下、ほかのクラブや地区とも力をあわせています。しかし、究極的には、私たちが達成することはすべてクラブの力のなせる業であると言えるでしょう。ですから、クラブは、どこでどのように奉仕するのがベストかを君得る自治権を持たなくてはなりません。私たちの仕事は、ある年度に決められた分野の奉仕のみを行うべきだとクラブに押し付けることではないのです。

しかし、私たちはまた、発展し続けるために、奉仕における継続性を目指します。強調事項を掲げ、ロータリーの奉仕を最も必要とし、その奉仕から最も多くを得られるさまざまな分野にエネルギーを向けるようクラブを奨励するのはこのためです。新しいロータリー年度、私は皆さんに経験から学び成功を積み重ねていくようお願いいたします。子供たちだけでなく大人も含む家族の健康と福利のために、どうか奉仕を続けていってください。

保健と飢餓救済は、多くのロータリー奉仕を含む分野です。この分野にかかわるとき、私たちは平和という大きな目標に向かっていることを忘れてはなりません。一日中何も食べずに空腹のまま床に就く人々が大勢いる限り、世界に平和がもたらされることはありません。

ジョン・ケニー
2009-10 年度 RI 会長
2009 年国際協議会における講演より

はじめに

国際ロータリーのサポートの下、保健および飢餓救済、識字率向上、水対策の各支援グループが設置されました。これらのグループは、本年度のロータリーの奉仕の強調事項を支援するとともに、ロータリー・クラブと地区が各地域社会でこうした問題に取り組むのに必要な情報やリソースをロータリー・クラブと地区に提供します。

ジョン・ケニーRI会長から任命された経験豊かなロータリアンが集まる2009-10年度保健および飢餓救済支援グループと、地区ガバナーから任命された地区コーディネーターは、保健を改善し飢餓を減らすという目標の下に活動します。地区を担当するゾーン・コーディネーターの連絡先を含め、保健および飢餓救済支援グループに関する詳細は、RIウェブサイト（http://www.rotary.org/ja/aboutus/rotaryleadership/ripresident/pages/healthandhunger.aspx）をご覧ください。

保健および飢餓救済支援グループは、各地元地域で保健問題に取り組むロータリー・クラブや地区の活動を支援します。本支援グループは、栄養摂取を改善し、予防と治療が可能な病気への罹患率を減らし、安全な飲み水と基本的な衛生設備の供給に取り組むプロジェクトを実施するよう、クラブに奨励します。

保健と飢餓問題に関連するクラブのプロジェクトについて、各クラブが地区とゾーンのコーディネーターに随時報告することが大切です。

ロータリアン行動グループ

ロータリアン行動グループは、人道的奉仕における共通の分野の下に結束した熱心なロータリアンやその配偶者、ローターアクターから成るボランティアのグループです。このボランティアの世界的ネットワークを通じて、ロータリアン行動グループは、「ロータリーの綱領」を推進する国際奉仕プロジェクトを実施しています。[1]

ロータリアン行動グループの活動に関心のあるロータリアンは、グループのウェブサイトを訪れ、資料を参照し、グループへ入会するよう奨励されています。

[1] ロータリアン行動グループは国際ロータリーによって正式に承認されていますが、これは、RIをはじめ、地区もしくはクラブがグループに対し、一切の法的、財政的、あるいはそのほかの義務または責任を負うことを意味するものではありません。ロータリアン行動グループは、国際ロータリーに代わって行動したり、代表したりするものではなく、またそうする権限を持っていることを意味するものではありません。ロータリアン行動グループは、国際ロータリーの代理機関ではなく、また国際ロータリーによって管理されているものではありません。

この資料について

本資料は、保健および飢餓救済支援グループの目標、プロジェクト、リソースを紹介するほか、ロータリアン行動グループのリソースにも触れています。

活動の表彰

今年度の会長賞プログラムは、取り組みがいのある数々の活動が対象となり、長期計画のはじめの 6 つの優先項目に関連しています。これらの活動は、四大奉仕部門とケニーRI 会長の強調事項である保健と飢餓救済、識字率向上、水の分野に取り組む機会でもあります。クラブが RI の長期計画の枠組みの中で活動に専念することで、ロータリーは、7 つ目となる最後の優先事項、すなわち「組織全体を通じて継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全に実施する」をも、自ずと実現させることができるでしょう。

これらの奉仕を通じて、ロータリー・クラブは以下を行うよう奨励されています：

> 保健と飢餓救済、識字率向上、水に関して、RI 支援グループが推奨する奉仕プロジェクトを行うか、これらの分野を専門とする定評ある多団体とのプロジェクトに協力する。

本資料では、会長賞の対象となる数々のプロジェクト例が紹介されており、そのほかの詳細は、2009-10 年度会長賞要項（www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/900a_09.pdf.）を併せてご参照ください。

上記の活動をはじめ、保健や飢餓問題に取り組むプロジェクトにぜひ参加してください。保健および飢餓救済支援グループは、有意義な活動に対して表彰状を贈っています。保健および飢餓救済支援グループによる表彰に関する詳細は、支援グループの地区コーディネーターまでお問い合わせください。この表彰状は、ロータリアン個人、クラブ、地区、またはその協力者に贈ることができます。

活動例

子供の死亡率は、単純に解決できず、保健と飢餓救済に密接に関係する問題です。しかし、ユニセフ、世界保健機関、セーブ・ザ・チルドレンといった国際開発機関は、子供の死亡率を減らす方策として以下を提案しています。

- **低コストの解決策に投資する**：一人当たり 1 米ドルの低コストで、致命的な病から子供を守れることが多くあります。これには、予防接種、授乳、経口補水塩療法、抗生物質、訓練を受けた助産師、栄養補助食品、虫除け処置の施された蚊帳などがあります。
- **女性・女子を教育する**：女性・女子への教育は、子供の死亡率を減らすために欠かすことのできない要素です。全体的に、教育を受けた女性や少女は、より健康で知識が備わっているため、母子が直面する健康上のリスクを理解し、対処することができます。
- **医療スタッフを訓練する**：多くの地域社会では、子供と母親の命を救うケアができるよう訓練を受けた医療スタッフが十分にいません。

- **保健システムを充実させる**：子供、母親、家族に専門的な保健医療を行えるよう、特に地元地域社会における保健システムを充実させ、拡大する必要があります。
- **協力関係を推進する**：地元レベル、地域レベル、国レベルでの協力関係を確立して医療介入の効果を高め、コストを最小限に抑え、説明責任を徹底し、活動の重複を避けることによって、世界規模で子供の死亡率を減らすことができます。
- **政府の関与を促す**：母親、子供、新生児の命を救えることが実証されている対策に政府からの支援を増やすことは、世界各国の子供の死亡率を減らす上で極めて重要です。

保健と飢餓の主要問題に取り組むために、ロータリー・クラブは次のような活動を行うことができます。

- クラブや地域社会で献血推進活動を行う。
- 保健と飢餓問題に関する卓話者をクラブ例会に招く。
- 健康フェアなどの保健プロジェクトを地域社会で実施する。この際、地元図書館や商工会議所と協力することもできる。
- スープキッチン（ホームレスの人々への温かい食事の提供）でボランティアをする（個人またはクラブとして）。
- 職場や地域社会内の施設、刑務所など、ニーズのある場所における保健改善プロジェクトを実施する。
- 地元病院で出産を終えたばかりの母親全員に、健康と栄養に関する情報資料を配るプロジェクトを実施する。
- 子供たちが保健や飢餓に関連するニーズを表現した作文や絵などのコンテストを後援する。
- 保健や飢餓問題に取り組む国際的なプロジェクトに、実地参加、または物資の発送や補助金の援助というかたちで参加する。
- クラブの保健・飢餓救済プロジェクトの展示を準備し、地区大会で展示する。

1 時間を捧げることで一人の子供の命が救われます

病に苦しむ無力な子供と絶望に打ちひしがれる親……。このような悲惨な状況を見て、同情と励ましの気持ちを抱き、助けたいと思わない人などいるでしょうか。
5 歳の誕生日を迎えることなく、毎日 3 万人の子供が亡くなっているという悲しい現実があります。そして、幼い命を最も多く失っているのは、発展途上国です。
貧血など、予防可能な健康問題が原因で 5 歳未満の子供が命を落としています。病院に来る患者に一番多いのが、このように衰弱した子供たちであり、3 歳未満の 10 人に 6 人が貧血を患っています。重度の貧血状態にある子供は死に至ることもあり、その死亡率は 30%に達するとも言われています。

私たちは手を差し伸べることができます。それも大勢の人々に……

飢饉、内紛、貧困といった問題が人々の生活を脅かしている国々では、貧血に陥る人が多い傾向が見られます。貧血を患う人々は、病気、特にマラリア（貧血の主要原因）にかかりやすくなります。マラリアの予防対策は大きく前進したものの、貧血の治療はまだまだ遅れています。貧血の子供を病から守るには、安全な輸血を早急に受けさせる必要があります。
先進国における子供への輸血は、これとは違う問題をはらんでいます。先進国では、治療に地域社会の多くの人々からの献血を必要とする病気は多くありませんが、それでも、大量の輸血用血液を必要とする病気も存在します。こうした病気のため、血液が不足してしまう病院もあります。
例えば、白血病は最も多く見られる小児がんのひとつです。効力の強い薬や骨髄移植によって白血病の治療は大きく前進しましたが、これらの治療法はいずれも、血液バンクでの完全な蓄え、また献血ボランティアからの血液や骨髄液を保存、移植するための高度な技術がなければ不可能です。
白血病を患っている一人の幼い命を救うには、100 人の血液ドナーを必要とすることもあります。小児がんの治療の成功に必要な血液ドナーを募るために、地域社会の人々が絶大なる協力を惜しまないことは、医師たちも認めているところです。
ロータリアンは、こうした協力の模範を示す存在です。世界中に、輸血や骨髄移植の支援を行っているロータリアンがいますが、これらのロータリアンは、病に苦しむ人々に希望と強さを与えています。
ロータリアン自らが袖をまくって献血に協力し、世界の輸血用血液の 1%以上を提供しています。60%以上の地区でロータリー・クラブが輸血用血液の確保のために地元の血液バンクを支援しており、私たちはこのように黙々と、何百万人もの命を救っているのです。しかし、このニーズがなくなることはありません。
私たちにできることは、地元地域の献血センターで献血したり、友人を献血に誘ったり、献血を定期的に行うことを習慣としたり、ボランティアとして手伝ったり、クラブ会員に声をかけたりすることです。時間を少し捧げることで、一人の子供の命を救うことができるのです。

自宅でできる支援：地域社会の献血センターに電話し、

ロータリーが支援できることを伝えましょう。

輸血に関する統計

発展途上国における輸血用血液の 65%は、小児科と産科で使われています。以下は、世界保健機関による推定です。

- 妊産婦死亡の 25%は、輸血用血液の不足に起因しています。

- アフリカにおける子供の死亡の 15%は、安全な輸血用血液が不足していることが原因であると考えられます。
- HIV・エイズ感染の 5～10%は、汚染された輸血用血液が原因となっています。

あなたにできること

- 定期的に献血する。友人を献血に誘う。地元の献血センターに電話をし、献血の予約を取る。
- 地元の献血センターをボランティアで手伝う。自分が持つ影響力を利用して、地元地域の献血センターが学校や職場などで献血活動を行えるよう手を貸す。
- 献血デーを実施する。
- ほかのロータリー・クラブや団体も参加するよう呼びかける。献血デーのアイデアは、ウェブサイト（www.ourblooddrive.org）の「献血活動の手引き」（Blood Drive Handbook、英語）をご参照ください。
- 「Club 25」プログラムを地域社会で始める。多くの国々で「Club 25」もしくは「Pledge 25」と呼ばれるプログラムが組織され、ポジェティブで健康的なライフスタイルを目指す若者たちが定期的に献血に協力しています。詳細は、Diane DeConing（didecon@tiscali.co.za）までお問い合わせください。
- 6 月 14 日の「世界献血者デー」（www.wbdd.org）をロータリー・クラブの例会で祝う。定期的に献血に協力している人を表彰する。
- 地域社会の献血センターや病院から、再利用する設備を輸送するのを手伝う。「やや古めの型式」の設備も、発展途上国では入手が困難な貴重品となります。例えば、「献血のための世界ネットワーク活動グループ（GNBD）」は、Medisend（www.MediSend.org）と手を組み、血液バンク、研究所、病院の設備を整備し、発展途上国の生物医学設備の技師を研修し、設備一式を配備するなどしています。米国の複数のロータリー・クラブは、地元の献血センターや病院と協力して医療設備を調達し、テキサス州、ダラスにあるMediSendに送っています（注：このプロジェクトで扱っているのは、部品や備品が長期的に入手できる特定の品目のみです）。詳細は、米国のロータリー・クラブのための窓口となっているMediSendの担当者、George Elking（GJElking@aol.com）までご連絡ください。
- 海外の献血センターと「姉妹」関係を結ぶよう、地元の献血センターに働きかける。

リンク

AABB Transfusion Medicine – www.aabb.org
America's Blood Centers – www.americasblood.org
American Red Cross — www.redcross.org
International Federation of Red Cross and Red Crescent Societies（国際赤十字赤新月社連盟） – www.ifrc.org
Safe Blood For Africa – www.safebloodforafrica.org
World Health Organization（世界保健機関） – www.who.int
The International Federation of Blood Donor Organizations（世界献血団体連盟） – www.fiods.org

その他の情報

詳細は、「献血のための世界ネットワーク活動グループ（Global Network for Blood Donation）」までお問い合わせください。

このグループのウェブサイト（www.ourblooddrive.org）には、数々の記事や手引き、献血や輸血医療を支援している個人や団体のウェブサイトのリンクが紹介されています。また、専門知識を備えたロータリアンがアドバイスを提供しています。追加の情報が必要な方は、info@ourblooddrive.orgまでご連絡ください。

献血のための世界ネットワーク活動グループへの入会を希望の方は、以下の情報をinfo@ourblooddrive.orgまでお送りください。

- 名
- バッジネーム（ニックネーム）
- 姓
- ロータリー・クラブ名／ローターアクト・クラブ名
- 配偶者またはご友人のお名前（ロータリー・クラブかローターアクト・クラブの会員でない場合）
- 地区
- 国名を含む完全な住所、Eメールアドレス、電話番号

会費その他の義務はありません。

ROTARIAN ACTION GROUP
FOR THE ALLEVIATION OF HUNGER & MALNUTRITION
（飢餓・栄養失調を緩和するためのロータリアン行動グループ）

飢餓問題に取り組んできたロータリアン

ロータリアンは、これまで長年にわたり、飢える人々に食糧を提供してきました。貧困の悪循環を断ち切るには、まず、強い意志と健康な体が必要です。私たちの人道的活動に対するニーズは非常に大きくなっています。

- 世界的な食糧危機によって食糧の価格が高騰し、食糧不足が悪化。飢餓に苦しむ人々は推定 10 億人近くにのぼる
- 世界人口の 17%が栄養失調
- そのうちの約半数は、子供たちである
- 毎年、400 万人近くの 5 歳以下の子供たちの死亡は、栄養失調に起因している

飢餓・栄養失調を緩和するためのロータリアン行動グループは、飢餓と栄養失調を緩和するために取り組む人々から成る国際的なネットワークをロータリアンに提供しています。この行動グループのメンバーは、その経験、プロジェクト、成功、課題、ニーズを互いに分かち合いながら、飢餓に関する情報を集め、協力関係を構築したり、飢餓との闘いを強化したりするために努めています。同グループは、メンバーの専門知識を生かし、家族や地域社会を自立させながら、飢餓を緩和していくことを目指しています。

この目標を達成するために、飢餓・栄養失調を緩和するためのロータリアン行動グループは、ニーズを抱えた地域社会に対し短期間分の食糧の供給を行っています。その傍ら、これらの地域社会が自立して発展し、必要な食糧を自分たちで購入していけるような社会基盤の構築を助けています。同グループは、プロジェクトの効果と影響を高めるために、ほかの団体や組織とも協力しています。

世界から飢餓と栄養失調を緩和させるには膨大な労力を要しますが、飢餓・栄養失調を緩和するためのロータリアン行動グループの活動の成果は、そのメンバー、ボランティア、世界中の協力団体に支えられたプロジェクトやプログラムの数の増加とともに膨らんでいきます。

詳細については、飢餓・栄養失調を緩和するためのロータリアン行動グループのウェブサイト（www.alleviatehunger.org.）をご覧ください。

飢餓を食い止めるためにあなたにできる 10 の項目

事実を把握する。飢餓と食糧確保とは何か。
なぜ食糧の値段が急騰しているのか。これは、貧困と栄養失調に苦しむ人々に、どのような影響をもたらしているのか。世界の各地で人々はどのように飢餓に苦しんでいるのか、また現在と将来において誰もが栄養豊富な食糧を十分に食べられるような社会を築くには、何が必要とされているのかについて学びましょう。

自分たちの地域社会を振り返る。飢餓と食糧不足は、地元に存在するか。
飢餓と栄養失調の問題は、世界のほぼすべての地域に存在しています。地域社会での食糧状況について学び、それが友人や隣人にどのような影響を及ぼしているのか考えてみましょう。

ROTARIAN ACTION GROUP
FOR THE ALLEVIATION OF HUNGER & MALNUTRITION
（飢餓・栄養失調を緩和するためのロータリアン行動グループ）

グローバルに考え、地元に即して行動する。地元でできることは何か。
食糧配給などのボランティア活動に参加しましょう。その機会がない場合には、自分で行動を起こしましょう。

ほかの人々の関心を高める。飢餓と栄養失調についての認識を高めるために何ができるでしょうか。
飢餓と栄養失調の問題について、友人や家族、近所の人に伝えましょう。ロータリー・クラブでもこの問題を提起し、地域社会が取り組むべき問題として取り上げてもらいましょう。

空腹を体験し、飢えとはどのようなものかを考える。
何も食べずに過ごすということはどのようなものか体験してみましょう。クラブ、または地域社会で、食事を 1 食または複数回、あるいは丸一日取らない断食日を設け、食べられない状態とはどのようなものかについて話し合います。

模範となるプログラムに倣う。飢餓と栄養失調に取り組んでいるプログラムは地元に存在するか。
地域社会に、飢餓と栄養失調に既に取り組んでいるプログラムが存在する可能性があります。これらのプログラムについて調べ、地域社会でこの活動を拡大していくために何ができるかを問い合わせてみましょう。

食糧危機が存在する国での食糧援助や学校給食、栄養失調の人々のための教育に対する支援を働きかける。
地元の政治家に連絡を取り、あなたが世界の飢餓と栄養失調を緩和するため活動資金の調達を支援していることを伝えましょう。

使ったお金の行き先を考える。自分の購入したものが、飢餓の緩和につながるか。
物を購入するために使った自分のお金がどこに行くのかを考え、お金を賢く使いましょう。貧困と飢餓の軽減を支援している企業をサポートしましょう。

環境問題に配慮する。環境面での責任を果たしているか。
世界のほかの地域で食糧危機を生み出す一因となっている「使い捨て」生活様式から決別しましょう。

行動を起こす。
無関心な態度を捨てて、財政的な支援を送りましょう。行動する勇気を持たない限り、慢性的な飢餓と栄養失調は、世界からなくなりません。

飢餓・栄養失調を緩和するためのロータリアン行動グループのウェブサイト（www.alleviatehunger.org）をご覧ください。

エイズがほかの病気と違う理由

エイズがほかの病気と異なるのは、以下の理由があるためです。

- 4,000 万人近くが感染し、2,800 万人近くの人々がエイズで亡くなっている。この病気の発症の中心はサハラ以南のアフリカで、全患者の 63%がこの地域に集中している。
- 多くは死に至る病。抗レトロウイルス薬を受けてエイズを患いながらも生活を続けられる人々は、4,000 万人の感染者のうち、わずかな人々のみ。
- 働き盛りの若い人々が多く感染している。これにより、家庭、地域社会、国の労働力が影響を受けている。
- 病気のため労働者が仕事に来られなかったり、さらには命を落としてしまうことで、あらゆる事業が圧迫される。
- 学校に通う子供の数が減り、教師の数も少なくなり、多くの国で全体的な教育の質が下がる。
- HIV は潜伏期が長く、感染から 8 年以上後に活性化するため、自覚症状のない時期に病気を他人へ広げてしまう可能性がある。予防には検査が重要な鍵となる。
- エイズ患者は社会から批判的な目で見られることが多く、このために人々がなかなか検査を受けないでいる。
- エイズは複雑な問題が絡んでいる。エイズと闘うためには、予防と治療の両方を優先させなければならない。

エイズは、公共保健の問題に留まりません。社会の全側面に影響し、サハラ以南のアフリカでは 121 万人が孤児となっています。

主なプロジェクト

エイズと闘うロータリアン行動グループの孤児と危機下の児童のためのアフリカ・ネットワーク（ANCHOR）プログラム

- 複数の組織が協力し、2004 年にエイズと闘うロータリアン行動グループによって設立された
- 協力団体は、ホープ・ワールドワイド、コカ・コーラ・アフリカ財団、エモリー大学公衆衛生科がある。
- 米国政府の大統領エイズ九歳緊急計画（PEPFAR）基金より、810 万米ドルの資金を受け、コートジボアール、ナイジェリア、ケニア、ボツワナ、ザンビア、南アフリカの地域社会でボランティアの支援を提供している。
- このプロジェクトでは現在までに、9 万人以上の孤児や恵まれない子供たちにサポートを提供してきた。

HIV のない世代をめざすケニアのパートナーシップ

- 2008 年、PEPFAR を通じて米国政府により開始される。このパートナーシップでは、民間組織、公的組織、非政府組織のリーダーが集い、若者の HIV 予防のために活動する。

- 民間組織として、ワーナー・ブラザース、ナイキ財団、コカ・コーラ・アフリカ財団、MTV、ジュニア・アチーブメント、マイクロソフト等が参加。
- 2008 年 9 月、12 カ国から 72 名のボランティアがケニアを訪れ、ナイロビのスラム街で 1 万人以上の恵まれない子供たちに視力検査、歯科検診、全般的な医療を提供した。

あなたにできること

- エイズと闘うロータリアン行動グループ（RFFA、www.rffa.org）に加わる。
- エイズと闘うロータリアン行動グループ（RFFA）の地区代表となり、海外の支援者と地元でエイズプログラムへの支援を求めるロータリアンとのパイプ役を務める。
- アフリカの 8 カ国で実施されているRFFAのANCHORプログラムやHIVのない世代をめざすパートナーシップを支援する。
- RFFAの「Orphan Rescue（孤児救援）」プログラムに寄付を行い、恵まれない子供たちへ授業料、制服、教材などを提供して学校に通えるようにする。詳細は、John Glassford,（jacksflat@gmail.com）まで。
- RFFAの「Kidz Club（キッズクラブ）」プログラムに寄付を行う。これは学校の放課後に行われる継続的なプログラムで、エイズで親を亡くした子供たちに生活に必要な基本的なスキルを教え、精神的なサポートを提供する。
- 「Speakers Bureau（講演者の集まり）」に加わり、エイズの蔓延を食い止めるため世界中のロータリアンに支援を呼びかける。
- 自分が持つ影響力を利用して、地元の学校で、HIV・エイズ教育プログラムを設ける。HIV・エイズについて、またHIV・エイズが子供たちの命に及ぼす影響について、地元地域社会の青少年が理解できるようにする。エイズ教育プログラムについては、ウェブサイト（www.rotarydistrict6900.org）で詳しく学ぶことができる。
- 12 月 1 日の世界エイズデーに、知識豊富な地元の講演者をクラブ例会に招いたり、エイズと闘う活動に寄付を行った会員を表彰するほか、HIV・エイズ問題に取り組む奉仕活動を実施する。

マラリアの予防

マラリアの予防に、最も効果的で経済的な方法は、長期残効型蚊帳（**LLTN**）を提供することです。マラリア予防の重要な手段である長期残効型蚊帳は、マラリア感染を最高で 80%まで防ぐことができます。

恵まれない人々、5 歳未満の子供たち、妊婦を含め、毎日、推定 3 千人もの人々がマラリアによって命を落としています。医療研究が進められていますが、決定的な治療法はまだ見つかっていません。

一方で、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団など、数多くの政府や団体がマラリア撲滅のために資金を投入しています。マラリアを無くすことができれば、マラリア常在国の全般的な福利が改善され、教育、労働意欲、家庭生活がよくなるばかりか、医療施設はマラリア以外の患者に行き届くようになり、国全体が活性化されることになります。

マラリアとは、以下のような状況をもたらす恐ろしい病気です。

- 最貧困層の人々ほど感染率が高い
- マラリア流行地域に住む人々に 5～30%の収入の減少をもたらす
- マラリアまん延地域にある病院の 80%のベッドがマラリア患者で埋め尽くされる
- 5 歳以下の子供たちと妊婦に影響を及ぼす

マラリアの予防対策により、すべての人々に、特に貧しい人々に恩恵がもたらされます。

私たちの目標

マラリア撲滅のロータリアン行動グループ（REMaRAG）の目標は、マラリア常在国の 5 歳以下の子供たちと妊婦全員に長期残効型蚊帳を提供することです。

長期残効型蚊帳一枚にかかる費用は、わずか 5 米ドルです。たった 5 米ドルで、一人の命を救うことができます。

私たちの目的

REMaRAG の目的は、マラリア問題に関心を持つロータリアンと配偶者、ならびにローターアクターが互いに知り合い、マラリアの予防対策を増進し推進することです。また REMaRAG は、世界中のロータリアンとローターアクターを、マラリア撲滅活動にかかわるそのほかの人々、団体、政府や機関と結びつけ、親睦と理解を深められるよう努めています。さらに REMaRAG は、撲滅活動のために、より効果的に援助を届けることを目指しています。

はじまり

マラリア撲滅のロータリアン行動グループは、世界各地で予防接種を実施しているポリオ・プラス・キャンペーンで生み出された協力関係と評判、および基幹設備を土台として築かれました。

ROTARIANS ELIMINATING MALARIA
A ROTARIAN ACTION GROUP
（マラリア撲滅のロータリアン行動グループ）

目標

最終的な目標は、マラリアを地球上から撲滅することです。中期的な目標は、マラリアの感染率を抑えるための物資、教育、その他の支援の提供を通じて、各国でマラリアによる死亡率を早急かつ効率的に減らし、最終的にマラリアワクチンを迅速に普及できるよう態勢を整えることです。

目的

- マラリア抑制のために世界的な協力関係を築き、推進する
- マラリア抑制に関心を持つ人々にプロジェクトに関する情報を提供する
- ロータリアンやその他の人々が、行動や財政的な支援において貢献できるようなプロジェクトを企画する
- 協力関係の効果を高める
- 国際理解と平和を推進する

主な活動

- REMaRAG のメンバーに、マラリア抑制に取り組んでいる協力団体やプロジェクトを紹介する
- マラリア抑制プロジェクトへの財政面・物流面の支援、その他の支援の形態を構築する
- ロータリアンやその他の人々が参加できるマラリア抑制プロジェクトを企画する
- マラリアの抑制に、「アドプト・ア・ビレッジ（村の援助）」の概念を打ち立てる
- ロータリアンの友情と奉仕の精神に沿って、さまざまな国のクラブと地区が活動を実施するよう、可能な限り働きかける

国別の委員会

国別の委員会は、マラリア抑制に関する活動を担当し、国や地域に住むロータリアンで構成されています。

マラリア撲滅のロータリアン行動グループに加わり、マラリア撲滅の活動をご支援ください。グループの詳細はウェブサイト（www.remarag.org）に掲載されています。

また 4 月 25 日の世界マラリア・デーに「Walk for a Net」（マラリア撲滅をめざすウォーキング・マラソン）へ参加するよう、ぜひご検討ください。この詳細もウェブサイト（www.remarag.org）に記載されています。

委員長：	Brian A. E. Stoyel
Eメール：	**brian@stoyel.co.uk**
電話：：	+44 1 752 401942
携帯電話：	07768 700466

人口増加問題と持続可能な発展のロータリアン行動グループの概要

人口増加問題と持続可能な発展のロータリアン行動グループ（RFPD、www.rifpd.org）は 1996 年に設立され、米国法の 501 (c)(3)に該当する非営利組織です。RFPDには、100 名以上のロータリー指導者を含め、世界で 2 万人のメンバーがおり、75 カ国で活動しています。ロータリアン行動グループの中でも最大規模を誇ります。

私たちの使命は、人口増加および開発に関する RI の声明を実践すること、世界各地で起こる人口と資源の不均等の問題に取り組むこと、ミレニアム開発目標の特にターゲット 5「2015 年までにすべての人々が生殖保健サービスを得られるようにする」に向けて貢献することです。私たちは 120 万人のロータリアンに教育を提供して意欲を高め、ロータリアンが人口問題に直接取り組むプロジェクトを立案して実施できるようにすることです。

重要な方策は、資源に対してバランスの取れた人口を形成すること、健康で幸せな家族をつくること、人口問題について支援を働きかけること、ロータリー財団のマッチング・グラントから人口問題に取り組むプロジェクトへ支援を得られるよう努め、必要な資金を出すことです。

RFPD が支援する世界社会奉仕（WCS）

RFPD は、ロータリー・クラブと地区の世界社会奉仕（WCS）プロジェクトに対し、専門的な支援を提供します。グループのリーダーは、長年 RFPD で活動を行っており、各専門分野に精通しています。RFPD は、ロータリーの内外で、人口問題の分野に関する専門グループとして認められています。

RPFD が主に対象としているのは女性や少女です。プロジェクトでは、女性や子供の保健の改善、識字や家族計画についての教育、職業技能訓練とマイクロクレジット（小口融資）といったことに焦点を当てています。RFPD は、各地域社会のニーズや文化的な背景をよく理解した海外の指導者チームとともに活動します。私たちはプロジェクトの情報センターのような役割を果たし、海外の協同提唱者を探すのを助けます。ロータリー財団へマッチング・グラントの申請書が提出された後は、プロジェクトの実施に際し、必要に応じて両クラブを支援します。当支援グループは、ロータリー・クラブが世界各地で人々の生活を変えるプロジェクトを実施できるよう触媒となります。

RFPD はモデルプロジェクトを開始し、支援してきました。中には、アレクサンドリアのスラム街で家族計画、職業技能、マイクロクレジットを推進するローターアクトのプロジェクト（MG # 20802）、ナイジェリア北部で母親の保健を改善するプロジェクト（MG # 53401）、インド北部で女性を助ける 24 の Saheli センターなどです。RFPD はまた、中南米で思春期の子供の妊娠を防ぐプロジェクトや HIV の母子感染を防ぐプロジェクトも支援しています。すべてのプロジェクトではミレニアム開発目標の特に目標 3「ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上」、目標 5「妊産婦の健康の改善」、目標 6「HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止」の達成に努めています。

RFPD は使途推奨冠名基金（DAF）を設けており、ロータリアンとロータリアン以外の寄付者が、乳幼児の死亡率を減らす活動を含め、人口増加問題と持続可能な発展に関するプロジェクトに貢献できるようになっています。DAF の資金は、財団のマッチング・グラントを授与された活動を補完するために使われます。

外部の資金源と RFPD

RFPD の持つ専門性が信頼され、世界中の組織から数百万ドルもの資金が寄せられています。現在の協力者は、PMNCH/WHO（母親、新生児、および子供の健康に関する WHO のパートナーシップ）、ACQUIRE、Aventis Foundation、BASF、Boehringer、Population Council、Packard Foundation です。

RFPD 理事会

Salem Mashhour委員長（北米）、Robert Zinser副委員長（ヨーロッパ）、Buck Lindsay事務局長、Dolapo Lufadeju（サハラ以南のアフリカ）、Rekha Shetty（アジア、特にインド）、Bill Cadwallader（北米とロシア東部）、Luis Serra（中南米）。詳細は、エグゼクティブ・ディレクターのJennifer Hendrickson（rifpd@aol.com）まで。

目的

糖尿病と闘うロータリアン行動グループの目的は、糖尿病が増えている問題についてロータリー世界に広めることです。ロータリー・クラブと地区は、特に発展途上国で糖尿病の教育、診断、治療を行うことで、人類のために素晴らしい奉仕を行うことができます。

国際糖尿病協会の推定によると、世界で 2 億 4,600 万人以上が糖尿病を患っており、この患者数は 2025 年までに 3 億 5,000 万人にのぼると言われています。発症が最も増えているのは発展途上国です。こうした国々では十分な保健医療が提供されていないことが問題となっていますが、糖尿病のような長期的な病が増えるとこの問題がさらに深刻化することになります。

ロータリーとその 120 万人の会員は、主な保健問題に取り組むリーダーとして、発症が増えている慢性的な疾患の問題に取り組む必要があります。ロータリアンの中にも糖尿病にかかる危険性を持った人々はたくさんいます。国連総会は糖尿病の影響を懸念し、2006 年 12 月に世界糖尿病デーを設けました。非伝染性の疾患として国連がこうした措置をとったのは糖尿病が初めてのことです。

全世界の糖尿病の関係者は、専門家やボランティアの活動を通じてプログラムをつくりました。ロータリアンはこうしたプログラムを各プロジェクトやマッチング・グラントで既に採用しています。私たち行動グループは、こうした活動を土台として、ロータリアンが世界各地で糖尿病に関連するプログラムを学び、これを実施できるような機会を設けたいと考えています。

主なプロジェクト

2 億 4,600 万人もの糖尿病患者が抱える問題は膨大で、すべての患者を効果的にまとめるのは困難であるため、糖尿病と闘うロータリアンの行動グループは、現在のロータリーの活動と併せて効果が実証されている介入活動を提案します。

まずは発展途上国で、インスリンが足りないために命を落としている子供たちがいます。これに対しIDFの「Life for a Child」プログラム（www.lifeforachild.org）と協力することができます。プログラムは、2001 年にオーストラリア糖尿病協会（NSW）ととホープ・ワールドワイドの支援によって設けられたものです。革新的かつ持続可能な支援プログラムで、発展途上国の子供の糖尿病患者を助けています。

「Life for a Child」プログラムの参加者は、糖尿病支援センターで最も助けを必要としている子供たちを援助します。寄せられた寄付によって、子供たちが生き延びるために必要な医療や糖尿病の教育を受けることができます。センターは医療と財務について詳細な報告を提出します。

プログラムの目標は以下を提供することです。

- 十分なインスリンと注射器
- 血糖モニターの設備
- 適切な医療
- HbA1c の検査
- 糖尿病についての教育
- 保健関係者への技術的な支援（要請された場合）

センターによって上記すべての支援が必要なところもあれば、一部の支援が必要なところもありあります。IDF の「Life for a Child」プログラムでは現在、18 カ国で 1,100 名の子供の糖尿病患者を支援しています。

私たちの熱意

元ポリオ患者（PSA）のロータリアン行動グループは、個人的な思いを持って、異なる視点から、乳児と子供の死亡率の問題に取り組んでいます。安全なワクチンが開発されるまでは、ポリオは、社会的な発展のレベルにかかわりなく、子供たちの命を奪っていました。ポリオワクチンの登場により、この悲惨な状況を防ぐことができるようになりました。PSA ロータリアン行動グループのメンバーの多くは、ポリオと個人的にかかわったことのある人々です。中には、自分自身がポリオを患ったことがあるメンバーもいれば、家族や友人が元ポリオ患者であったメンバーもいます。このような個人的な体験から、PSA は、ポリオ撲滅を目指すロータリーの持続的な活動に熱心に取り組んでいます。

また、瀕死の状態や障害を体験したことのある PSA のメンバーは、「生きている」ことと「生きる」ことの違いを理解しています。「生きている」こととは、呼吸をし、食べ物や水を摂取できる状態を意味します。「生きる」こととは、自分の周りの人々の生活にかかわっていくことです。それは、自分の家族や地域社会に貢献することを意味します。この理由から PSA のメンバーは、最近または継続的にポリオが発生している地域に、地域社会を基盤としたリハビリ施設を設立するために取り組んでいます。適切なリハビリと指導によって、元ポリオ患者は、生き生きと生活できるようになり、地域社会にも貢献できるようになります。これは、ただ生きていることとの大きな違いであると私たちは信じます。適切なリハビリ、教育、職業訓練によって、元ポリオ患者は、結婚して家族を養い、子供の健康や幸福に寄与できるようになります。今日、元ポリオ患者は、しばしば人々から避けられ、家族により人目から隠されて暮らしています。中には学校に通わず、幼いうちから物乞いをするために路上に出される子供たちもいます。地域社会を基盤としたリハビリ施設設立への私たちの取り組みは、これらの子供たちに健康的な肉体と精神を提供することを目指しています。

私たちは、「撲滅からリハビリへ」を標語としています。報告されたポリオの症例数について話すとき、私たちは、単なる数について話しているのではない、ということを思い出さなければなりません。私たちが話しているのは、不必要な理由で手足が一生涯使えなくなってしまった現実の子供たちです。過去 25 年間に、ポリオを患った子供たちには何の責任もないのです。私たちには、これらの子供たちがリハビリと教育を受け、地域社会で正常に暮らせるように見届けていく倫理的な義務があります。

ポリオは、どの年齢の人にも感染しますが、特に幼い子供たちに多く感染しています。 今日、ポリオは、特に 2 歳以下の子供たちに多く感染しています。私たちのポリオ撲滅活動における最大の課題は、残るポリオ常在地域で増加を続ける出生率です。これらの地域では、定期的な予防接種の実施率が低く、ほとんどの出産は自宅で行われ、出生記録は常に正しく付けられているわけではありません。これらの理由で、弱い立場にある子供たちの多くが、予防接種キャンペーンの機会を逃しています。残る常在地域の元ポリオ患者は、撲滅プログラムについて説得力を持って伝えることができます。中には、既にそうしている元患者もいます。

個人的にポリオを体験した私たちには、すべての地域社会での保健の改善に対する特別な熱意と意欲があります。ポリオウイルスは体内に摂取されることで宿主を見つけます。これは、世界からポリオをなくすためには、清潔な水を供給し衛生設備を改善する活動が不可欠であることを意味します。PSA のメンバーは、このような活動に貢献しています。

ROTARIAN ACTION GROUP
FOR POLIO SURVIVORS AND ASSOCIATES
（元ポリオ患者のロータリアン行動グループ）

元ポリオ患者のロータリアン行動グループの基本的な信条は、それぞれの分野で既に活動しているロータリアン以外の人々、団体や機関と協力関係を結ぶよう努めることです。私たちは、国際的な組織であるポストポリオ・ヘルス・インターナショナルと強力な協同関係を結んでいます。また現在、世界保健機関とルーズベルト・ウォームスプリングス・リハビリ研究所とも協力関係を築いている過程にあります。

世界保健機関との協力によって、地域社会を基盤としたリハビリセンターの設立に取り組むことができます。ポストポリオ・ヘルス・インターナショナルは、元ポリオ患者を支援する団体から成る国際的なネットワークです。加盟団体の多くは、地元地域社会に密着し、地域社会に何が適しているかを理解していることから、その地域に根ざした支援を行うことができます。ルーズベルト・ウォームスプリングス・リハビリ研究所は、身体と精神面でのリハビリにおいて長い経験を持っています。身体と精神面でのリハビリは、元患者が生き生きと生活し社会に貢献していくためにも不可欠です。

また私たちは、ポストポリオ症候群に対する認識を、ロータリアンと地域社会の中で高めていくために活動しています。社会の認識を高めることが、医学界での認識向上につながります。これは発展途上国では特に重要です。ポリオに一度かかると、ポリオの後遺症に一生涯悩まされます。

保健の改善は、PSA が達成したいと望んでいるすべてのことの基本です。活動歴の浅い私たちは、どの地域社会であれ、人々の健康改善を目指すプロジェクトであれば、積極的に参加していきたいと望んでいます。また場所を問わず、保健や飢餓に関するプログラムに協力する機会があれば、進んで取り組んでいきたいと考えています。現在、私たちには、ロータリー・クラブと地区の援助を必要とするプロジェクトがあります。これらのプロジェクトに取り組むために、ロータリー財団のマッチング・グラントへの参加を希望するロータリー・クラブと地区を探しています。また、プロジェクト実施地域で持続的に行えるプロジェクトも探しています。

あなたにできること

ロータリアンはポリオを撲滅するために、資金的援助以上のことを行わなければなりません。私たちは一般の人々にポリオウイルスが未だに脅威であるという事実を広め、教育するという義務があります。私たちはこうした活動をさらに強化していく必要があります。ロータリアンには次のようなことができます。

- 地元の小学校、中学校、高等学校で使える教育的プログラムをつくる。
- 3 年間に毎年、ポリオ・プラスに対し 2,000 米ドルを寄付していくようロータリー・クラブに呼びかける。
- 残るポリオ常在地域での迅速かつ協調的な援助を提供するために、プロジェクトの焦点を、ポリオ常在地域での水、衛生設備、保健、識字率向上に当てる。同時に、永久にポリオのない世界の実現に向けて貢献していく。

- 地元で元ポリオ患者を探す。地元の元ポリオ患者支援団体を見つけ、ロータリー・クラブから援助を得られるかどうかを確かめる。
- 地元に元ポリオ患者支援団体がない場合は、新たに団体を発足させる。
- 元ポリオ患者をロータリー・クラブ例会に招待し、講演者として体験談を話してもらう。ポリオ・プラスへの寄付の増進と、ポストポリオ症候群に対するロータリアンの認識を高めることにつながります。
- 元ポリオ患者のロータリアン行動グループに参加する。 元ポリオ患者でなくても、同グループに参加したり支援を送ったりすることができます。グループの生涯会費は 100 米ドルです。

クラブで、元ポリオ患者を支援するプロジェクトに参加してもらうようご協力ください。ポリオによる身体麻痺が原因で床を這う子供たちの姿を見て心を痛めている方は、ぜひ私たちにご連絡ください。個人寄付、またはマッチング・グラント・プロジェクトを通じて、矯正手術、リハビリ、その他の支援を提供する手段をご紹介します。

リンク

元ポリオ患者のロータリアン行動グループ：	www.rotarypoliosurvivors.com
ポストポリオ・ヘルス・インターナショナル：	www.post-polio.org/
ルーズベルト・ウォームスプリングス・リハビリ研究所：	www.rooseveltrehab.org
世界保健機関	www.who.int

世界的な問題

最近実施された乳幼児の聴力損失テストの研究により、難聴と乳幼児突然死症候群が相関関係にあることが判明しました。このテストでは、乳幼児突然死症候群で死亡した子供全員が難聴の傾向を示していたという結果が出ています。アメリカ合衆国のような開発国においてさえ、毎年、3,600 人の子供が乳幼児突然死症候群で死亡しており、この死亡数はほかの国々ではさらに高い数字となっています。

世界の開発途上国に焦点を当てて考えてみた場合、不衛生な状態や栄養失調、飢餓状態がまん延しているため、子供の聴覚損失の危険性が高まるのは当然と言えます。

生まれながらにして聴覚障害を患う子供は、教育が受けられないまま育ち、成長しても働き口が見つけられない結果を招くことになりがちです。このような人々の多くが、年齢を問わず、生き延びるためにゴミ箱をあさったり、路上で物乞いしたりする生活を強いられています。

私たちは手を差し伸べることができます

補聴器の恩恵にあやかっている人々は大勢いますが、値段が張るため、先進国と呼ばれる国でさえも、購入できない人もたくさんいます。もちろん、難聴の完全治療が望ましいことは言うまでもありません。しかし、この治療の可能性を探るために、世界中の科学者が全力を挙げているものの、現在の資金状況と関心の度合いでは、最も楽観的な見解を持つ研究者でさえ、治療の解明に最低 50 年はかかるだろうと踏んでいます。

聴力再生のためのロータリアン行動グループは、現在、Deafness Research Foundation（聴覚障害リサーチ財団）とともに、諸政府、財団、企業の関心を難聴に関する研究へと向けるよう努力しています。

聴覚障害に関する理解を広めるための活動の一環として、「Hope for Hearing Loss」と題された DVD の推進にも努めています。また、私たちは、第 5020 地区とその他の地区の 45 以上のロータリー・クラブを訪問し、聴覚障害に関するプレゼンテーションを行ってきました。

あなたにできること

- 家族全員で聴力損失テストを受け、子供や孫に聴力を守る方法を教える。
- 聴覚専門家とともに、地元の高校に聴力テストのプログラムを設ける。地元にインターアクト・クラブがあれば、関与してもらえるよう働きかける。
- 最寄りのリサーチセンターの聴力損失リサーチのために資金を募る。
- ほかにアイデアがあれば、聴力再生のためのロータリアン行動グループに連絡する。
- 議員や立法関係者に働きかけ、難聴の研究に資金が提供されるよう奨励する。
- DVD 「Hope for Hearing Loss」を支援グループから取り寄せ、クラブ例会で紹介する。
- 聴力再生のためのロータリアン行動グループに入会する。委員長のGene PankeyにEメールで連絡し、詳細を問い合わせる（gwpankey@comcast.net）。

私たちの目的

多発性硬化症への意識向上ロータリアン行動グループは、多発性硬化症治療の発見に向けて、ロータリーからのさらなる関与を求めています。この目的を果たすため、私たちは、多発性硬化症患者のためのプロジェクトにかかわるロータリアンに支援を提供します。

現在、23 カ国に会員がおり、その多くが 32 カ国にある多発性硬化症協会と協力して、治療発見に向けて活動しています。多発性硬化症とその治療発見の支援法に関する詳細は、私たちのウェブサイト（www.rotary-rfmsa.org）をご覧ください。

多発性硬化症の治療法発見にご協力を

多発性硬化症は子供の死亡率と直接関係しているわけではありませんが、近年、若い患者が増えており、生後わずか 20 カ月という患者さえいます。

病状が進行し、1 日 24 時間の介護が必要になった時点で、多くの患者は高齢者用の施設への入居という最終手段に訴えています。そうすれば、家族の重荷とならずに、必要な介護を受けることができるからです。しかし、高齢者を対象とする施設のない地域もあります。このような地域社会では、悲しいことに、家族が小さな一室に患者を閉じ込めたまま、家族の恥として世間に隠し通すか、養うことを放棄し、路上に放り出したままにするかのどちらかしかありません。

しかし、希望があります。多発性硬化症への意識向上ロータリアン行動グループの会員が、世界中の多発性硬化症協会とともに、この病気に対する理解を推進し、研究を支援しています。多発性硬化症の治療発見を支援するには

- 地元地域の多発性硬化症協会に連絡を取り、どのようなプロジェクトがあるかを尋ねる。
- 地元地域の多発性硬化症協会とともに募金行事を開催する。世界中のクラブが、多発性硬化症研究資金の調達を目的とし、水泳大会、サイクリング、ウォーキング、ファッション・パレードなどを実施している。
- 地区で多発性硬化症に取り組む活動を始めるため、地区多発性硬化症理解推進社会奉仕委員会を設置する。地区多発性硬化症理解推進社会奉仕委員会についての詳細は、第 9800 地区（taurins2@vegas.com.au）に連絡し、実際の議事録を送ってもらう。
- 多発性硬化症の研究、裁判、調査、設備のための補助金や奨学金を支援する。
- 介護施設に入居中の患者に援助を提供する。

私たちの使命

失明予防ロータリアン行動グループの使命は次の通りです。

- 親睦と奉仕の下に、世界各地における失明の予防と健康な視力の推進に積極的な関心を示すロータリアンを集める。
- アイデアを出し合い、それについて討議し、共通の目標に向けて適切な協同プログラムを開発するための基盤とフォーラムを提供する。
- 共通の目的と活動を通じて国際理解と平和を推進する。

失明予防ロータリアン行動グループは、元失明救済実行グループ、眼科医療専門家の親睦活動グループ、眼科医療に関わるロータリアンの親睦グループから派生したものです。失明を予防し眼科保健を改善することに関心のあるロータリアン、配偶者、ローターアクターは、この公式支援グループに加わることができます。

私たちの活動

失明予防ロータリアン行動グループは、世界中で、さまざまな診療所や治療方法を通じて人々の失明予防と視力回復に尽力しています。子供を対象とする場合、特に予防と初期診断に力を注いでいます。

主なプロジェクトを以下にご紹介します。

- 2005 年以来、インドで 50 万人以上の人々に無料で白内障手術が行われてきました。インドで白内障は失明の第一の原因とされており、この白内障プロジェクトは毎年続けられています。
- アフリカでは、子供と成人を対象に眼科検診が行われ、河川盲目症の予防に必要な薬が提供されています。
- トラコーマが蔓延しているアフリカの地域でも、水プロジェクトと並行して眼科クリニックでの眼科検診と薬提供プロジェクトが行われ、この病の根絶を支援しています。主に子供が感染するトラコーマは、最終的には失明へといたる病です。
- メキシコシティーでは、恵まれない人々への角膜移植を無料で提供するため、4 口のマッチング・グラントにより、設備の整った角膜バンクが設立されました。
- アジア全域では、全国の学校で眼科検診が行われ、目の屈折異常と診断された子供たちに無料でめがねが提供されています。また、斜視を患う子供たちには外科的矯正の専門医が紹介され、症状の深刻な子供には精密検査と治療が行われています。
- パキスタンのカラチでは、ロータリー財団マッチング・グラントおよび失明予防のための使途推奨基金（DAF）からの支援により、2,136 人に無料で白内障手術が行われたほか、研修を受けた技師が使うための診断用の眼底鏡が寄贈されました。
- スリランカでは、ロータリー財団からの補助金と失明予防のための使途推奨基金（DAF）によって、僻地に住む医療費の払えない人々に眼科の診断と治療を行うため、眼科クリニックが設置されました。
- メキシコの恵まれない地域では、子供たちにおよそ 3 千個の度付きメガネが無料で提供されました。

- トルコのイスタンブールでは、財団の補助金および失明予防のための使途推奨基金（DAF）からの資金により、移動眼科クリニックの設備が整えられ、貧困や交通手段の不足のために医療を受けられない人々、特に子供とお年寄りに対し、質の高い眼科医療を提供しています。これらのプロジェクトと合わせてほかのプロジェクトが行われることもあり、地域社会の人々の生活の質全体を高めています。特に、失明の原因となる病気に水から感染するケースが多いため、水・衛生設備プロジェクトが並行して行われています。地域社会にきれいな水を提供することによって、トラコーマや河川盲目症といった眼の病気の予防につながります。

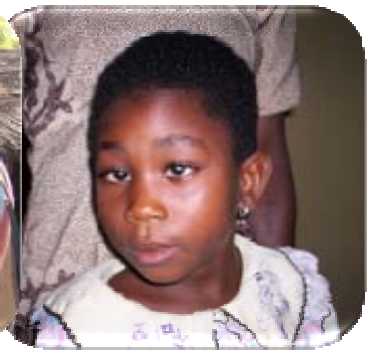
子供たちの失明を予防、診断、治療することができれば、より豊かな人生を送る機会を与えることができます。

失明予防のための使途推奨基金（DAF）

フランク J. デブリン元RI会長によって設立された「失明予防のための使途推奨基金（BP-DAF）」は、ロータリー財団補助金を受ける失明予防プロジェクトを支援するために利用されています。ロータリアン、ロータリー・クラブ、地区は、この使途推奨基金の口座の管理者に連絡し、この使途推奨基金からの補助金による支援を要請することができます。詳細はwww.rag4bp.org/daf.htmをご覧ください。

インドの白内障手術

術後の治療



斜視

トルコでの送迎バス

トラコーマ

アフリカでの設備改善

ボランティア歯科医

過去数年間に、人道的な歯科治療の提供に携わってきた多くのロータリアンに出会いました。彼らは常にネットワークづくりをしようと努めています。歯科ボランティアのロータリアン行動グループを通じて、私たちは、歯科医としての経験を分かち合い、寄贈用の歯科用機器を探したり提供したりしています。また、奉仕活動や特定のプロジェクトでのボランティアの機会を探し、親睦のための人脈づくりを行っています。

私は、歯科診療所のよろい窓の外に、4 歳か 5 歳くらいの小さな娘を抱えた若い母親が立っていた姿を忘れられません。これは、私たちがジャマイカで活動していたときの話です。彼女たちは遅い時間にやって来ました。その時の母親の言葉が、私の頭の中にいまでに響いています。「先生、どうか私の娘を診てやってください。ここに来るために、一晩中歩いてきたんです」

実際、ジャマイカでのこの初めての経験が私の人生を変えることになり、私は単なるロータリー・クラブの会員からロータリアンとなったのです。奉仕への呼び声は、自らを無欲にロータリーへささげている人々の心の中で響き渡ります。

世界には非常に多くのニーズがあり、私たちは皆さんの支援を必要としています。私たちとともに自分の目で異文化を体験し、皆さんの時間と才能を生かしたボランティア活動についてお知らせください

モンティ・オーデイナート、国際ロータリー理事、RAGDV 創立委員長

歯科ボランティアのロータリアン行動グループには、世界で人道的な歯科治療を提供することに関心のあるロータリアンであれば誰でも参加できます。

静かな疾病

- 小児期の歯科疾病と口腔疾患は、しばしば「静かな疾病」と呼ばれています。
- これらの疾病は、早めに発見し治療しないと、より深刻な問題を生じ、不必要な苦痛を引き起こします。
- すべての子供が幼児期のうちに歯科医の診察を受けることが極めて重要です。歯科医の診察を定期的に受けている子供たちは、歯と歯茎の手入れをよく行い、深刻な歯科疾病を患うこともありません。
- 幼児期から歯の健康習慣を身に付けるようにしましょう。子供が 12 カ月になったら、歯磨き粉を使って歯磨きすることができます。歯磨き粉は豆粒大の量を使い、子供が飲み込んでしまわないように歯ブラシの毛の間に押し込むようにします。
- 子供の歯と歯の隙間が閉じたら、歯間をフロス（糸ようじ）で掃除することが大切です。
- 自ら歯の健康習慣を実践し、子供の手本となりましょう。
- 歯茎の出血、歯茎の腫れや赤み、歯から後退した歯茎、口臭など、口腔疾患の兆候がないかどうか子供の口内を調べましょう。
- 子供にバランスの取れた食事をさせましょう。研究では、カルシウムとビタミン C が不足すると、子供たちは、歯科疾病や歯周病にかかりやすくなることがわかっています。

- タバコの喫煙が健康に及ぼす影響についてすべての子供たちに教育しましょう。タバコの喫煙は、予防可能な歯周病の一番の原因となっています。

代表責任者：
モンティ・オーデイナート、国際ロータリー理事、RAGDV 創立委員長
Dr. Kim Schilling, President, tthferry@yahoo.com

ROTARIANS FOR MINE ACTION
A ROTARIAN ACTION GROUP
（地雷対策ロータリアン行動グループ）

私たちの目的

地雷対策ロータリアン行動グループ（RFMA）は、世界から地雷を除去するために活動するロータリアンとその配偶者、ローターアクターの間で、親睦を深め認識を高めていくことを目的としています。また、RFMA は、地雷でけがをした人々に支援を提供しています。

RFMA の目標は以下の通りです。

- 地雷問題に関心を持つロータリアンとその配偶者、ローターアクターの間で、活動と協力関係を推進し、地雷問題への認識と知識を高める
- ロータリアンとその配偶者、ローターアクター、ならびにクラブに、以下に取り組むプロジェクトを支援するよう奨励する
  - 地雷やその他の不発弾が残る国で、地雷の危険に関する教育を推進する
  - 地雷の除去と廃棄を支援する
  - 地雷犠牲者とその家族に援助を提供する
  - 地雷が除去された地域社会で、持続可能な地域開発を支援する

RFMA との協力

RFMA に参加し、世界から地雷を除去する活動に加わりましょう。

地雷の被害を減らすために、RFMA は、地雷が残る国で、地雷の危険に関する教育（MRE）プログラムを実施しています。このプログラムによって、地雷の完全撤去の実現を待たずとも、子供たちが命を落としたりけがをしたりする危険が激減します。MRE プログラムは、過去 5 年間に、地雷によるけがや死亡を著しく低下させるという功績を上げました。

また RFMA は、地雷を撤去するために募金活動も行っています。これらの募金活動への寄付によって、地雷による子供のけがや死亡を軽減することができます。オタワ条約が締結されて以来、この 10 年間に地雷の製造、使用、売買がほぼ中止されました。今では地雷の供給と使用は、限られた地域での問題となっています。私たちは、対人地雷のない世界の実現を目指して活動しています。私たちは、私たちが生きている間にこの目標を達成できると信じています。

残念なことに、地雷によりけがをする子供たちが今でも多くいます。RFMA は、地雷の犠牲者が、健康面、精神面、感情面で回復していけるよう、援助しています。私たちのプログラムは、地雷犠牲者が、地域社会の一員として再び生活していけるよう、研修、義肢、カウンセリングを提供します。

地雷が撤去された後も、私たちの活動が終わるわけではありません。RFMA は、紛争の目に見える残骸が取り除かれた後も、持続可能な地域社会を築いていくために活動を続けます。地域社会の安定を図ることで、子供たちは、戦争による暴力を経験することなく、より健康的かつ平和的に生活できるようになります。

目的

小口融資（マイクロクレジット）のロータリアン行動グループ（RAGM）を通じて、ロータリアンは効果的なマイクロクレジットプログラムに参加することができます。RAGM はメンバーに以下を提供しています。

- ロータリアンの小口融資プロジェクトの実施方法やベストプラクティス
- 回転ローン資金補助金申請を成功させるための準備方法や要件を順守するための指針
- 非政府組織（NGO）と小口融資機関に関する情報および協力を得るのための援助
- 小口融資プロジェクトについて世界中のロータリアンと話し合う機会となる参加型のコミュニティー・フォーラム
- 最新のニュースや情報を提供するオンラインのリソース
- プロジェクトや資金を探すためのオンライン・データベース
- 地域社会で小口融資を推進するためのビデオ、配布資料、電話会議などのツール
- 国際ロータリーとロータリー財団の方針および手続きに関するアドバイスを通じて、将来に小口融資プロジェクトを実施する機会

主なプロジェクト

- レスブリッジ大学ローターアクト・クラブが、2008 年 RI ロサンゼルス国際大会で、2008 年卓越したローターアクト・プロジェクト賞、米国・カナダ地域部門に入賞。
- マイクロクレジット諮問委員会の研究と推奨事項の作成に参加。
- RI ロサンゼルス国際大会で行われた 2008 年小口融資ワークショップを特集した教育的 DVD（上映時間 2 時間）を配布。
- 回転ローンのためのマッチング・グラントについてクラブに教育的資料やアドバイスを提供といった直接的な支援。
- 方策について考え、話し合う国際大会の分科会での司会進行。
- インド、カナダ、米国、中央アメリカなどで開催されたゾーン、地区、地域の小口融資会議の支援と参加。

その他の情報

Steve Rickard（RAGM会長）： steve@propertytaxes.com

Steve Bell（RAGM幹事）：steveb@steadyimprovement.com

RAGMのウェブサイト：www.ragm.org

災害

自然災害やその他の災害が起こったとき、ロータリアンはほかのロータリアンとともに支援を提供したいと望みます。ロータリアンは、迅速に、またほかのロータリアンと連帯して行動を起こします。

私たちは何から始めたらよいでしょうか。

20 世紀中に、2 億 3,100 万人以上の人々が人災と自然災害で亡くなりました。そのうちの約 1 億 4,000 万人の人々は、戦争によって命を落としています。残りは、大規模な飢餓、集団虐殺、その他の人災など、直接戦争にかかわる原因で命を失っています。

以下のような驚くべき統計が示されています。

- 世界では常に、平均して 20 から 30 の武装紛争が起こっている。
- これまで 15 年間だけでも、内乱や民族紛争の結果、命を落とした人々の数は 360 万人にのぼる。
- これらの死の 45 パーセントは子供です。

私たちの目的

災害救援ロータリアン行動グループ（DRRAG）の目的は、災害に対応する機会をロータリアンに提供することです。同グループは、救援・復興活動に効果的に参加できる世界的な機構をロータリアンに提供し、被災者のニーズに迅速に応える緊急体制を整え、復興に向けて長期的に援助できるよう準備を整えています。

地域社会への総体的な支援

DRRAG の代表責任者である Lee Malany 氏は、次のように記しています。「DRRAG が重点を置いているのは、総合的な支援です。私たちは、緊急事態だけに対応するのではなく、被災地域が再び完全な元の状態に戻れるよう支援を続けることを目指しています」私たちは、この復興目標を、ロータリーの力と私たちの倫理である「超我の奉仕」を通じて、達成していきます。

DRRAG は、ロータリー・クラブが自然災害やその他の災害への対応を主導し、ニーズに対し援助の手を差し伸べるよう世界中のロータリアンに呼びかけていきます。私たちは、ニーズが、人的、知的、財政的、資源的、または奉仕的なものであれ、そのニーズを満たすために何をすべきかを見極めることができます。活動の結束性、リソースの効率的な活用、ニーズへの取り組み、奉仕活動の効果を確かなものとするために、DRRAG の基盤を通じて、ほかのロータリアン行動グループ、親睦活動グループ、補助金プログラムと活動を調整します。

さらにDRRAGは、寄付者の信頼を培います。ロータリーのプロジェクトは、たとえそれがほかの協力団体との協同プロジェクトであっても、ロータリアンにより指揮、実施、監視されています。DRRAGは、責任を持って、資金がどこでどのように使われ、活動がどこでどのように実施されているかを把握しています。ロータリーの会計・報告基準がすべてのプロジェクトに適用され、ロータリアンはそれらをDRRAGのウェブサイト（www.drrag.org）で閲覧できます。ロータリアンには、ロータリアンの共同体として結束し、「四つのテスト」を実践していく責務があります。

リンク

DRRAGのウェブサイト: www.drrag.org

DRRAGの災害に関するニュース: http://rghf.org/drrag/

DRRAGのブログ: http://drragmaster.igloocommunities.com/

代表責任者:

PRID John Eberhard, Executive Director and Chair of the DRRAG Board of Directors, jeberhard@crcid.org
PRID Sushil Gupta, Chair, Advisory Steering Committee, Sushil.Gupta@hyatt.com
LeGrand L. Malany, CEO, DRRAG, lmalany@juno.com
Dr. Edward “Eddie” Blender, CIO, DRRAG, EBlender@aol.com

WATER AND SANITATION ROTARIAN ACTION GROUP
（水と衛生設備のロータリアン行動グループ）

使命

水と衛生設備のロータリアン行動グループ（WASRAG）は、安全な水と衛生設備を提供することで、人々の健康や生活を改善します。

目標

WASRAGの第一の目標は、保健の推進と飢餓の緩和の手段として安全な水源や衛生設備を開発するためのプロジェクトやプログラムで積極的な役割を果たすよう、ロータリー・クラブと地区に情報や支援を提供し、奨励することです。

主な方策

目標に向けて、WASRAGは以下を行います。

- 地元や海外の水に関する問題についてロータリアンに認識してもらう。
- 安全な水と衛生設備の必要性と大切さについて理解してもらう。
- 維持可能でコストのかからないプロジェクトを実施できるよう、ベストプラクティスをまとめる。
- 水・衛生設備の技術に関する情報を配布する。
- ほかの団体、企業、機関、NGOとの協力関係を築く。
- ロータリー財団からの資金に加え、ほかの財源を探す。
- 持続性を推進するプログラムやプロジェクトを見つけ、実施する。
- プロジェクトの効果を測るためのシステムをつくる。
- 専門家のネットワークを作り、ロータリアンやロータリー・クラブが利用できるようにする。
- 水と衛生設備の技術および問題に関する研修や教育を提供する。
- 情報交換の場を設ける。
- 関連資料や参考文献の目録を作る。
- 関連する会議の情報を提供する。
- 水問題について政府や自治体に働きかける。
- 水と衛生設備に関する中心的存在となる。
- ウェブサイト（www.wasrag.org）を運営し、ニュースレターを発行する。

病気を予防する保健フェア

保健フェアとは、保健改善と疾病予防に焦点を当てた行事で、地元から資金を調達して開催されます。保健医療は、世界中で必要とされていますが、保健フェアは、地域の人々の独自のニーズに合わせて企画されます。

保健フェアは、健康に関する重要な情報を地域社会の人々に提供するだけでなく、若い人から年長の人まで楽しめる社交的な体験の場となります。

保健フェアは、米国、ロシア、メキシコ、フィジー、フィリピン、モンゴルなど世界各地で実施されています。

保健フェアでは、以下について取り上げることができます。

眼科医療
非常時の対処方法
歯科衛生
10 代の若者のための健康的な生活
子供のしつけ方法
ペットを使ったセラピー
乳児への医療と子供の保健
血圧と血液検査
リプロダクティブヘルス（性と生殖に関する健康）
癌の早期発見
健康クリニック
タバコ、薬物、アルコールの乱用防止プログラム

ロータリアンは、保健の専門家や政府機関と協力して、保健フェアを開催し、ボランティアとして活動できます。

あなたにできること

世界保健フェアのロータリアン行動グループ（www.worldhealthfairs.org）に連絡し、地元で、保健フェアを開催することについて尋ねる。

リンク

KidsHealth（www.kidshealth.org、英語）：胎児から思春期の子供たちに関して、医師が認める保健情報を提供しています。

MedLinePlus（www.medlineplus.gov、英語）：MedlinePlusは、米国の国立医学図書館、国立衛生研究所、その他の政府機関や医療関連団体から集められた信頼性のある情報を提供しています。このウェブサイトには、薬品に関する広範囲な情報、図解入りの医療百科事典、実況画像付きの患者への指導、保健に関する最新情報が掲載されています。

CAPHIS Parenting and Kids（http://caphis.mlanet.org/consumer/parenting.html、英語）：CAPHISは、子供に関する保健情報を提供し、子供の発育段階、病気と症状、育児、その他子供に関する多くの問題を取り上げています。

ProjectLINK（プロジェクトリンク）

概要資料

ProjectLINK（プロジェクトリンク）とは

ProjectLINK（プロジェクトリンク）は、オンラインで検索可能なデータベースで、資金、ボランティア、寄贈物資、ロータリー財団マッチング・グラントの協同提唱者を必要としているロータリー・クラブと地区の奉仕プロジェクトが掲載されています。また、ベストプラクティス（最善の実践方法）として参考とすることのできる完了済みのプロジェクトもご覧いただけます。ロータリアンは、国、プロジェクトの種類、必要条件、プロジェクトの状況（実施済みまたは援助を必要としているプロジェクト）、またはキーワード別にプロジェクトを検索することができます。RI ウェブサイトを通じて利用できる ProjectLINK は、毎月更新されます。

ProjectLINK にプロジェクトを登録するにはどうすればよいか

援助を必要とする社会奉仕プロジェクトを実施するロータリー・クラブは、「ProjectLINK Submission Form for Projects Seeking Support（プロジェクトリンク提出書式：支援が必要なプロジェクト用）」に所要事項を記入し、RI 世界本部または RI 日本事務局に提出することで ProjectLINK に登録できます。

- クラブは、1 度に最高で 5 件までのプロジェクトを ProjectLINK に登録できます。
- プロジェクトは、ProjectLINK に 2 年間登録されます。
- 提唱クラブは、2 年が経過する前に、登録したプロジェクトをほかのプロジェクトへと差し替える、またはプロジェクトの完了やその他の理由で登録を撤回することもできます。
- クラブは、資金、マッチング・グラントの協同提唱者、ボランティア、寄贈物資など必要としているものを掲載することができます。

ロータリー・クラブは、成功裏に完了させた地域社会の奉仕プロジェクト、または援助を必要としなくなった現行のプロジェクトを ProjectLINK に登録することができます。ProjectLINK の「モデルプロジェクト提出書式」に所要事項を記入し、RI 世界本部または RI 日本事務局に提出することで ProjectLINK に登録できます。ProjectLINK にクラブが登録できる完了済みのプロジェクト、または現行のプロジェクトの数には制限が設けられていません。

クラブは ProjectLINK に掲載されているプロジェクトをどのように支援できるか

他クラブのプロジェクトを支援しようと考えているクラブは、ProjectLINK の中から関心のあるプロジェクトを選ぶことができます。プロジェクトを選んだら、直接プロジェクトの担当者に連絡して詳細を尋ねます。

寄付を送金する場合、小切手は国際ロータリー(Rotary International)を受取人とし、小切手に WCS プロジェクト番号を明記してください。読みやすいようにタイプではっきりとご記入ください。

- 米貨でのご寄付は、世界社会奉仕送金書式を添えて、「Rotary International, 14255 Collections Center Drive, Chicago, IL 60693」へお送りください。
- カナダドルでのご寄付は、世界社会奉仕送金書式を沿えて「Rotary International Box B9330, P.O. Box 9100, Postal Station F, Toronto, Ontario M4Y 3A5」へお送りください。
- 米国とカナダ以外の寄付者は、該当する事務局（日本の場合は RI 日本事務局）を通じて寄付を送金してください。

ProjectLINK（プロジェクトリンク）

概要資料

ProjectLINKのウェブサイト –
http://www.rotary.org/ja/serviceandfellowship/projectresources/projectlink/pages/ridefault.aspx

ProjectLINK に関する RI 資料

ProjectLINK Submission Form – Projects Seeking Support
（プロジェクトリンク提出書式：支援が必要なプロジェクト用）
www.rotary.org/RIdocuments/en_doc/projectlink_form_en.doc

World Community Service Remittance Form（世界社会奉仕送金書式）
www.rotary.org/RIdocuments/en_pdf/wcs_remittance.pdf

Model Project Submission Form（モデル・プロジェクト提出書式）
www.rotary.org/RIdocuments/en_pdf/comm_proj_form.pdf

ProjectLINK に関するご質問は下記までお問い合わせください

RI プログラム部
Rotary International
1560 Sherman Avenue
Evanston, Illinois 60201-3698 USA

Tel. 1-847-866-3000
Fax: 1-847-866-6116
Eメール: programs@rotary.org
www.rotary.org

留意事項:

プロジェクトの ProjectLINK への掲載は、国際ロータリーの承認を意味するものではありません。プロジェクトの説明とリストへの掲載については、このプロジェクトを提唱したクラブ、または地区が責任を負います。また、ProjectLINK への掲載は、国際ロータリーのロータリー財団からの資金支給を約束するものでも、申請するものでもないことをご了承ください。

プロジェクトの ProjectLINK への掲載は、国際ロータリー、またはロータリアン行動グループによるプロジェクトの承認、あるいは第三者へのリンクの承認を意味するものではありません。プロジェクトの説明、掲載、および第三者へのリンクは、国際ロータリーが確認したものではありません。

ロータリアン行動グループ

Rotary's Action Group Web site（ロータリアン行動グループのウェブページ）
www.rotary.org/actiongroups.

Global Network for Blood Donation（献血のための世界ネットワーク活動グループ）
www.ourblooddrive.org

Population Growth and Sustainable Development
（人口増加問題と持続可能な発展のロータリアン行動グループ）
www.rifpd.org

Rotarians for Fighting Aids（エイズと闘うロータリアン行動グループ）
www.rffa.org

Alleviation of Hunger & Malnutrition（飢餓・栄養失調を緩和するためのロータリアン行動グループ）
www.alleviatehunger.org

Rotarians Eliminating Malaria（マラリア撲滅のロータリアン行動グループ）
www.remarag.org

Polio Survivors and Associates（元ポリオ患者のロータリアン行動グループ）
www.rotarypoliosurvivors.com

Dental Volunteers（歯科ボランティアのロータリアン行動グループ）
www.ragdv.org

Diabetes（糖尿病と闘うロータリアン行動グループ）
www.ragdiabetes.org

Disaster Relief（災害救援ロータリアン行動グループ）
www.drrag.org

Rotarians for Mine Action（地雷対策ロータリアン行動グループ）
www.rfma.org

World Health Fairs（世界保健フェアのロータリアン行動グループ）
www.worldhealthfairs.org

Hearing Regeneration（聴力再生のためのロータリアン行動グループ）
www.hearingregeneration.org

Microcredit（小口融資のためのロータリアン行動グループ）
www.ragm.org

Blindness Prevention（失明予防ロータリアン行動グループ）
www.rag4bp.org

Multiple Sclerosis Awareness（多発性硬化症への意識向上ロータリアン行動グループ）
www.rotary-rfmsa.org

Water and Sanitation（水と衛生のロータリアン行動グループ）
www.wasrag.org

RI とロータリー財団のプログラムに関するウェブサイト

保健および飢餓救済支援グループ：
http://www.rotary.org/ja/aboutus/rotaryleadership/ripresident/pages/healthandhunger.aspx

ポリオ・プラス：
www.rotary.org/endpolio

地区補助金、マッチング・グラント、保健、飢餓、人間性尊重（3-H）補助金、ボランティア奉仕活動補助金：http://www.rotary.org/ja/serviceandfellowship/fundaproject/pages/ridefault.aspx

ProjectLINK（プロジェクトリンク）：
http://www.rotary.org/ja/serviceandfellowship/projectresources/projectlink/pages/ridefault.aspx

「活動する地域社会：効果的なプロジェクトのための手引き」（605A-JA）：
www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/605a_ja.pdf

「地域社会の調査法の紹介」（605C-JA）をダウンロードする
http://www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/605c_ja.pdf

その他の団体

World Health Day	www.who.int/worldhealthday
Heifer International	www.heifer.org

国連機関

世界保健機関	www.who.int
UNAIDS（国連合同エイズ計画）	www.unaids.org
国連食糧農業機関	www.fao.org
世界食糧計画	www.wfp.org

その他のリソース

The State of the World’s Children 2009 （2009 年世界の子供たちの現状）	www.unicef.org/sowc09

リソース

UNICEF Program for Young Child Survival & Development
（幼児の救済と発育に関するユニセフのプログラム） www.unicef.org/childsurvival

WHO Partnership for Maternal, Newborn, & Child Health
（母親、新生児、および子供の健康に関するWHOのパートナーシップ）www.who.int/pmnch

ユニセフによる子供の死亡率に関する統計 www.childinfo.org

UNFPA Safe Motherhood Program
（国連人口基金妊産婦の健康プログラム） www.unfpa.org/safemotherhood

Eldis Children & Young People Resource Guide www.eldis.org/children

概要

ロータリー・クラブは、保健、識字率向上、水に関する活動を通じて地域社会に貢献しているだけではありません。世界で最も貧しい人々の生活を改善するため、国連が 10 年近く前に開始した大規模でグローバルな活動にも参加しています。

2000 年の国連ミレニアム・サミットでは、世界各地の地域社会が貧困を減らし、疾病、教育、保健、シェルター、安全といった問題に取り組む意欲を固めました。この取り組みは 8 つの目標に集約され、国連ミレニアム開発目標と呼ばれています。

1. 極度の貧困と飢餓の撲滅
2. 普遍的な初等教育の達成
3. ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
4. 乳幼児死亡率の削減
5. 妊産婦の健康状態の改善
6. HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止
7. 環境の持続可能性の確保
8. 開発のためのグローバル・パートナーシップの構築

各国がこれらの目標を達成する期限は 2015 年です。目標を達成するため順調に活動を進めている国もありますが、ほとんど進展の見られない国もあります。多くの場合、1 つの目標を達成すると、他の目標の達成にも近づきます。例えば、HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病を患う子供たちが大勢います。目標 6 を達成できれば、子供の死亡率の低下にもつながります。

ロータリーは、このような目標が確立される前から、こうした分野に関連する多くの問題に取り組んできました。飢餓を緩和するための活動は半世紀近くに及び、目標 1 に貢献してきたことになります。「ロータリーが自然と取り組んできたことの一部にすぎません」と話すのは、国連への RI 代表を務めるヘレン・リースラー氏（ニューヨーク・ロータリー・クラブ所属）です。「それでも国連の動きを見ていると、私たちの活動の重要性がわかりますし、これからも世界で活動を続けていく意欲がわいてきます」

目標 1 にある飢餓と貧困の緩和は、長い間、人道的組織を悩ませてきた問題です。世界で 8 億 5,200 万余りの人々が栄養失調状態です。世界最大の人道機関である国連世界食糧計画によると、問題は食糧不足ではなく、食糧を入手する手段がないことだと言われています。

「数々の要因によって、手頃な価格で十分な食糧を得られない人々が増えています。食糧と燃料の価格高騰、現在も続く市場の脆弱性や世界的な経済危機により、収入が減る一方、飢餓が増え続けるという状態です」と説明するのは世界食糧計画のエグゼクティブ・ディレクターのジョセット・シーラン氏です。

しかし、飢餓をなくすことは可能だとシーラン氏は言います。「私たちは、孫の世代には飢餓がなくなるよう決断するときに来ています。私たちはこれを達成する力を持っていますし、問題についての認識を高め、一度決断をすれば、世界から飢餓をなくすことができるのです」

飢餓撲滅を提唱し、草の根レベルのボランティアとして活動するロータリー・クラブの会員は、飢餓をなくす解決策の 1 つとなる、とシーラン氏は続けます。特に、各地域で上手く活動を進めるために、人々を動員したり、協力を得るにはロータリーの知識が役立つなど、世界食糧計画とロータリーの協力はほかに例を見ないほどの効果を上げています。

世界食糧計画とロータリーは、1997 年から正式に協力関係を結んでおり、ロータリーは世界食糧計画に代表者を派遣しています。RI 会長に任命され、代表となったロータリアンは、ロータリーとの協同活動を奨励したり、世界食糧サミットなどの会合に出席してロータリーの活動を紹介します。「2 つの組織がより密接に効果的に活動を行っていけるのを楽しみにしている」とシーラン氏は言います。

ロータリー・クラブは、コストをかけずに効果的なプロジェクトを行って、ミレニアム開発目標に貢献できる機会が数多くあります。

国連ミレニアム開発目標の詳細はウェブサイト（www.unmillenniumproject.org）をご参照ください。

ポリオ・プラスとロータリーの 2 億ドルのチャレンジ

ソーク博士とサビン博士によるポリオワクチン導入とたゆまぬ予防接種活動のおかげで、世界の多くの地域において、ポリオの発生はもはや過去の話となりました。
しかし、いまだにポリオの感染に怯えながら暮らしている人々が数多くいるのも事実です。ロータリーと世界的な協同組織が、すべての子供にワクチンを投与し、世界中からこの病を撲滅しようと懸命に取り組んでいるのは、このためです。

全世界的なポリオとの闘いでは、大きな進展が遂げられてきました。

- 1980 年代には、125 カ国で、毎日 1,000 人の子供たちがポリオに感染していました。
- 今日、ポリオの症例数は 99 パーセント減少し、2006 年に報告された症例は 2 千件を下回りました。
- 20 億人の子供たちが予防接種を受けた結果、500 万人がポリオによる身体麻痺の後遺症を免れ、250,000 人以上が死を免れました。

20 年間にわたる努力が実り、ロータリーと協同団体は、ポリオの撲滅にあと一歩というところまでたどり着きました。しかし、完全な撲滅を果たすには、今、すべての力を振り絞らなければなりません。私たちは、歴史的な機会を迎えているのです。

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から授与された 3 億 5,500 万ドルのチャレンジ補助金に上乗せする 2 億ドルを集めるために、ロータリーへのご寄付にご協力ください。開発途上国には、ポリオの感染によっていまだ身体の麻痺に冒され、将来の希望を見出すことのできない子供たちと、その苦境に直面する家族がいます。ゲイツ財団の補助金とロータリーの募金によってもたらされる 5 億 5,500 万ドルは、このような国々における予防接種の支援に直接、投入されることになります。

世界のどこかでポリオに脅かされている子供が一人でもいる限り、世界中の子供たちが同じ脅威にさらされていることになります。リスクはきわめて高いと言わざるを得ません。今、皆さんが寄付を行うことで、ロータリーはポリオのない世界を達成することができるのです。